種山ヶ原は今 60 「種山ヶ原の『物見山』と『大森山』」

地名が物語る「人首丸」

800 年頃朝廷と戦った美少年「人首丸」は大森山に眠っている



大化の改新以降朝廷側の辺境の開拓が始まり、特に黄金の豊富な蝦夷の地東北へ坂上田村麻呂を大将に制圧の力を強めていきました。

その大きな第一歩が多賀城築城(724 年)でした。802 年には胆沢城を築城。朝廷側を迎え撃つ北上川流域の蝦夷のリーダー阿弖流為（アテルイ）と母禮（モレ）は蝦夷の人々の平和を優先し、征夷大将軍坂上田村麻呂に降伏してしまったのです。

田村麻呂は二人のカリスマ性や性格を気に入り、平安京に同行させたのですが、公家たちの反対に会い惨殺されてしまったのです。その事を知り、朝廷に対し東北人の意気を示してくれたのが『人首丸』でした。人首丸は朝廷のあまりに非人間的な対応に憤り、朝廷と戦う決意し、**大森山**を決戦の地としたのです。朝廷側の大将は、征夷大将軍田村麻呂代将軍の娘婿田原兼光でした。彼は戦勝祈願し、八咫烏神社、八雲神社、麓神社を建立し人首丸を攻めたのですが、蝦夷の人々との密かな連携支援と人首丸軍の凄まじい抵抗に 4 年も戦い続けました。しかし大同元年（８０６）人首丸もついに敗れ、処刑されてしまいました。敵の大将の田原兼光も若き闘将人首丸、及び戦士たちの意気を讃え、死を悼んで大森山に祀り、観音像を刻み、大森観音堂を創建したのでした。

「大森山」と「物見山」（人首丸の陣地を見張る）？





【古老の話】墓碑の大きさは現在の３倍の大きさだった。

　ある鉱山士が墓碑の下に宝物が埋められていると思い、墓碑を倒して宝物を探したのですがなかったそうで、倒した時に墓碑が割れ、現在のように小さくなったという。昔はお参りにいく人々の列が山大畑から見えたそうです。

「人首丸」と地名

　人首丸の名が、**人首町、人首川、人首橋、人首小学校**として今尚残っている。**人首という苗字**も県内にある。また、明治 22 年まで**人首村**だったが、村名を変えようという動きが起こり、村議会で村名が**米里村**に。

　また、征夷大将軍坂上田村麻呂の娘婿田原兼光は、戦勝祈願し烏堂（うどう）山頂に八咫鴉社を、火石に八雲社、中沢に麓神社を創建した。

人首丸の死悼んで、**聖観音**を奉納したのが、**麓神社と山ノ上観音堂。**

「『人首丸』を攻めた田原兼光の足跡を巡るツアー

　11 月 1 日ほんの 6 名で巡って歩きました。**軽トラ 3 台**で！

　木枯らしの吹く朝 9 時 20 分「八咫烏神社」に向けて地区センターを出発。神社にはのぼり旗がいっぱい立ち、色んな菊の花が神社を囲んでいた。この神社を一人で作った別当の田村清人さんが出迎えてくれた。早速お参りし帰ろうとすると、お菓子を一箱用意してくれていた。何とありがたいことか。





とにかく寒いので、早々に次の神社「八雲社」に向った。この神社も戦勝を祈願して建てたものだが、色々の神様の石塔が並んでいる。歴史の為せる業だろう。神社の上には朽ち果てた神社が見えたが部落の人が協力してその下に新しく建てお守りしているのだろう。石塔は道路工事で方々にあったものを一個所にまとめたものだ。本当にありがたいことです。

「種山ヶ原」に到着。キャンパーが数人いて、テ　ントの前で焚火をして楽しんでいた。
多分ボンファイアーを楽しみたいのだろう。確かに星を眺めながらの焚火はいい！





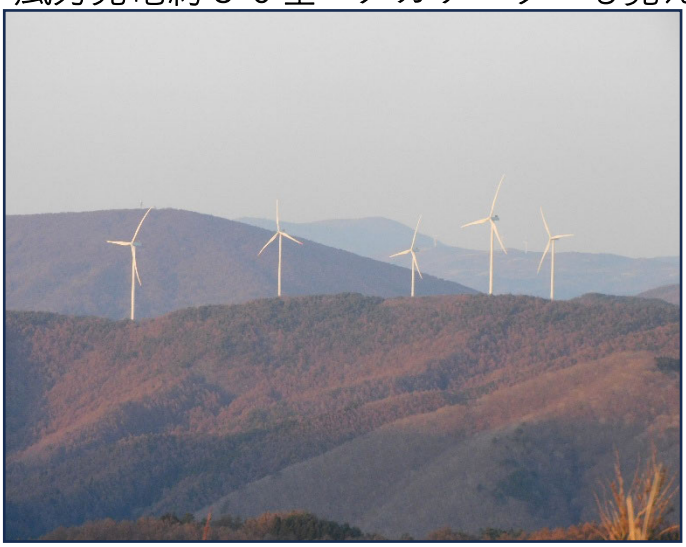


「遠野側の草原」　＜物見山が大森山より 50ｍほど高い＞

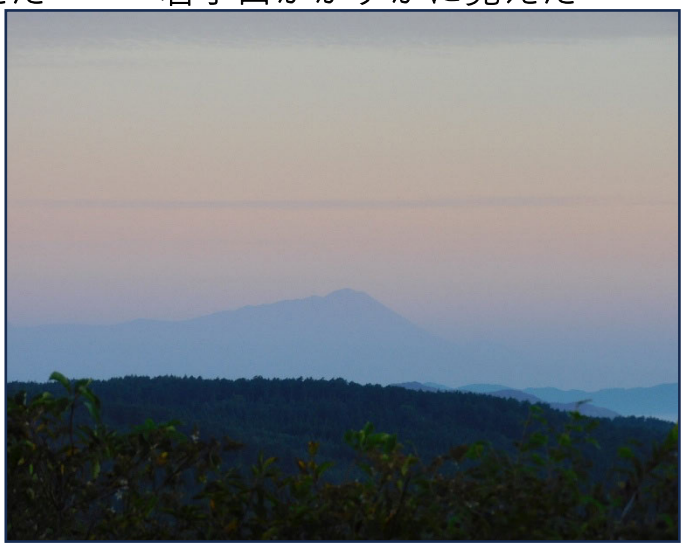


夕方になると、何処からともなく鹿が出て、牧草を食べ始める。被害 30%。黒っぽい大きな角の雄鹿が周りを警戒している。私達が行くと、早速近づいてきて荒い息で威嚇する。
アメダスの修理もまもなく終わるという。そのそばが物見山で、多分人首丸を攻めるための物見の山だったのだろう

風力発電約３０基　メガソーラーも見えた



岩手山がかすかに見えた



最近残念に思うことは、ヒバリが見られなくなったことです。3 年程前までは春になると、正に「揚げ雲雀名のり出で」だったのに、なぜ？

「賢治の森」



野アザミの花の季節も終わり、概ね刈払いを終えた賢治の森に行った。物見山と大森山が連なって見られる。残念なことに種山ヶ原には宮沢賢治の詩碑があるのはここだけだ。劇「種山ヶ原の夜」で歌われる詩「牧歌」である。「高原」「種山ヶ原」の詩碑を近年に建てたいといつも思うのだが。「立石」も低くなってしまった。木細工小学校出身の人達はよく言っていた。「がきの頃は、このてっぺんさ上がって遊んだものだ」。風化して石が少しずつ落ちてしまうのです。「この辺がら物見山までずっと野芝で裸足で歩いたもんだった。」と。この賢治の森と物見山の野芝だけは守って行きたいものです。東屋はカモシカの休憩所になっている。昔はこの辺一帯を麓の農家の人々の草刈りに解放されていた。





風が寒いので、次の「人首丸」に向った。大森林道は、よく整備され運転に支障をきたすことなく、所々にきれいな渓流を眺めながら進み、途中 10 年程前に「盛街道」調査を行い 2 年目でようやくその道を確認できた。その時設置した標識を確認。まもなく人首丸入口に到着し、悪路の林道を進み無事階段に着いた。女性にはかなりきつい道路だが、鶴田さんの奥さんはよく頑張った。この階段は俳句の会の人達が来るというので、高齢者用に階段を作ったものだ。



早速お神酒と塩をお供えし、みんなで礼拝。この墓碑も 3 倍の大きさだったらしいが、悪い鉱山士が宝物があるだろうと、倒して掘り起こしたらしい。その時に割れて小さくなったのだという。確かにその残骸が今はお供え台になっている。



我らの英雄「人首丸」を守って行く。

次に向った神社は「麓神社」。この神社は田原兼光が戦勝祈願して建てた神社でもあり、「人首丸」の死を悼んで、聖観音を彫り、彼の死を悼んで奉納した神社でもある。ここの奥院は県指定文化財でもある。





今回の【ツアーコース】



＜来春「賢治の森」に「東菊」が咲く頃
またこのツアーを実施します。＞

「麓の風景」





菜の花と水車小屋　秋なんです！



自然の庭園



マユミ

種山ヶ原の整備も終盤です。ご苦労様！

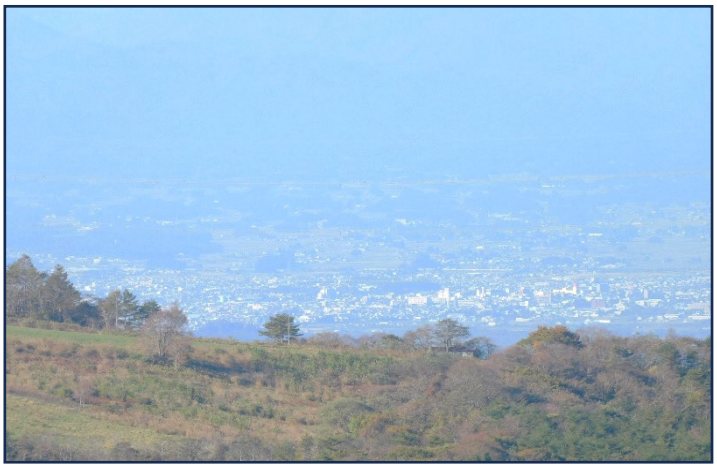








レンゲツツジの保護活動が始まる。平沢君と二人で 11 月～4 月　春になると野ウサギが芽を





㊤眼下に水沢㊦ヤマナシの実

放牧も終わり、静かな種山ヶ原になりました

ガマズミ







7 日、種山ヶ原は雪。白い世界にうつって行きます。